2026年度　酪農学研究科　修士課程　第2期入学試験問題

（選択：国際環境情報学）　受験番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以下の３問のうち２問を選択して回答すること。

1. 野生動物に関する位置情報（行動軌跡や目撃情報等）から、その潜在的な生息環境を空間的によって推定する手法について下記のキーワードを３つ以上用いて具体的に説明せよ。その際、**空間情報（野生動物の位置情報を含む）**の取得や選択時における注意点を述べよ。(50点)

キーワード：GNSS（GPS)、センサー、衛星画像、GIS、ドローン、モデル、環境要因

2. 人工衛星のアーカイブ（archive）データを用いて地域の**土地利用・土地被覆の長期変化**（気候など自然的要因と開発など人為的要因による変化）を定量的評価する手法について具体例を挙げてできるだけ詳しく説明せよ（50点）

3.　2025年にクマによる人身被害は全国的に発生されまた駆除されたクマの頭数は１万頭近く上り、統計開始以来過去最悪となった。現在クマが生息するエリア（山林）と人里（人間の生活圏）の間に緩衝帯（ゾーニング）の設置を進めている自治体がある。では、**空間情報『GIS（地理情報システム)、GPS（全球測位システム)、およびRS（リモートセンシング)』を利活用したクマの管理計画について具体的に述べよ**。(50 点)

解答：

解答（続き）: